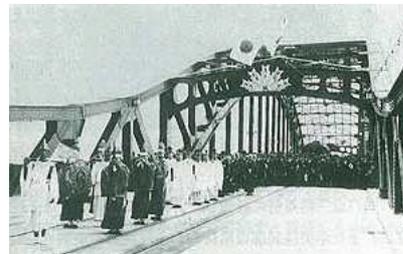


世代と世代をつなぐ架け橋「旭橋」

あさひばし



北海道三大名橋「旭橋」



昭和7年の波橋式「軍都旭川を象徴する橋でした」



75周年記念事業でオリジナル合唱歌「旭橋」を披露



地元小学校で地域交流習字大会「題材は旭橋」



旭橋塗装工事の現場体験「旭橋を塗ろう」の様子

旭橋は、道北の中心都市旭川を流れる石狩川に架けられており、昭和7年当時の最新技術で設計された鋼鉄製のアーチ曲線を描く美しい姿から、旭川のシンボルとして市民に親しまれています。

札幌市の豊平橋、釧路市の幣舞橋と共に北海道三大名橋といわれましたが、現在では旭橋のみが架橋当時の姿を残し、完成から70年以上経過した今でも、その強靱な構造によって、旭川中心部と北部を繋ぐ市内交通の要衝としての役割を担っています。

この旭橋の歴史や魅力を広く発信し、地域の財産として後世に語り継ごうと、平成17年に有志23名が「旭橋を語る会」を結成しました。

当会では、市民公開講座、総合学習や塗装工事の現場体験など、幅広い市民層に向けて旭橋とかかわる機会を提供し、親しみを深める多様な取組を行っています。

これら地道な取組が広く浸透し、現在では、一般市民や学生などのボランティアが旭橋及びその周辺の河川敷の清掃活動や花園づくり活動を行うなど、市民自ら地域の財産として、旭橋を守っていこうという気運が醸成されてきています。

このような取組は、旭橋を単なるまちのシンボリックな記念碑にとどめるのではなく、世代と世代をつなぐ心の架け橋として、交流を通じて旭川市民のふるさと意識を広げていくという役割を担っています。

■所在地

北海道旭川市常盤通3丁目～本町1丁目

■活動内容

- ・旭橋フォーラム：平成17年11月、平成18年3月
- ・地域交流習字大会：平成18年8月
- ・旭橋75周年記念事業：平成19年10月
- ・総合学習：平成21年7月
- ・旭橋塗装工事現場の見学会：平成20年8月、平成21年8月

■活動主体名

旭橋を語る会

■応募者又は推薦者・担当部局名・連絡先等

旭橋を語る会（㈱ライナーネットワーク内 旭橋を語る会事務局）
電話番号：0166-23-2006

